



2019年4月9日

SaloneSatellite 2019 / サローネサテリテ2019

FOOD as a DESIGN OBJECT / 食がデザインオブジェクト

第22回サローネサテリテは、35歳以下の若手デザイナーたちの登竜門となる展示です。今年は「*FOOD as a DESIGN OBJECT*」をテーマに掲げ、将来の食のシステムを考え、知的で責任ある利用可能なプロジェクトをデザインの中で生み出すというタスクを担う若い人々への刺激となる場です。

若きデザイナーを育てるため、サローネサテリテは彼らを応援します。今年は約550人が参加しロー・フィエラミラノ会場の22-24ホールの3,000㎡を占有します。一般は会期中通してカーゴ5番から無料で入場できます。使用済み素材のリサイクル、代替え素材の試みや革新的な技術を駆使し、溢れる才能は新しい感覚で未来のデザインに果敢に挑みます。

サローネサテリテ2019 が新しい世代のデザイナーに与える課題、「**FOOD as a DESIGN OBJECT**」では、食品業界とデザインが結びつくことで考えを出し合う機会を与えます。食品産業、生産、消費のサイクル全体、廃棄物、廃棄物の管理、教育にクリエイティビティが加わります。デザイナーにとって興味深く刺激的な分野であるこのテーマは、ECAL ローザンヌ州立美術学校で研究されカロライン・ニーブリングが発表した著書「*The sausage of the future / 未来のソーセージ*」からヒントを得ており、サローネサテリテ2019はカロライン・ニーブリングを招待しています。また、この本はECALと共にサローネサテリテ2017で発表しています。デザイナーができることについて彼女は少々楽観的かも知れないものの、食品は他のものと同じように製品でありプロジェクトであると捉え、国境を超え、食品分野で質の高い実績を積み重ねるための新しい道を開拓し、地球上における人間の未来に大きな違いをもたらす、と考えています。

食というテーマのシンボルにちなみ、**ミケッタパン・プロジェクト** はミラノの街へのオマージュ。**ダヴィデ・ロンゴーニ、アレッサンドラ・ズッキ、アレッサンドロ・グエリエロ**が非営利団体、**Pane Quotidiano/パーネ・クオティディアーノ**のた



めにミラノ・コンフコンメルチョ（ミラノ商業総同盟）パン協会と協働し、サローネサテリテ2019のためにプロジェクトを立ち上げました。この新しいパンは、オーストリアのキッペルで生まれ、50年代にミラノの労働者の中で初めてのストリートフードとなりました。ミケッタパン・プロジェクトは、オープンでグローバルなミラノを象徴するパンとして、5大陸の5つの異なる穀物（小麦、モロコシ、キノア、米、トウモロコシ）を使い作られています。ミケッタはホール22のサローネサテリテ・アリーナで開催される第10回サローネサテリテ・アワード、第6回デザインアワード RIVA1920の表彰式にて紹介されます。

今年も選考委員会は、サローネサテリテ創設者およびキュレーターのマルヴァ・グリフィン・ウィルシャーを筆頭に、デザインやコミュニケーション分野で国際的に著名な人物で構成されています：

ステファン・バークス/ デザイナー
フランチェスコ・ファッチン/ デザイナー
フランチェスカ・ランツァヴェッキヤ/ デザイナー
エミリアーナ・マルティネッリ/ マルティネッリ・ルーチェ社長
ジュリアーノ・モスコーニ（AD、Tecno、ZANOTTA社長）
ジャンルカ・モスコーニ/ テクノ&ザノッタ 社長&CEO
モニカ・ペドラーリ/ ペドラーリ コマーシャル&マーケティングディレクター
ロレンダ・マスケローニ/ ドムス 記者
ヴェロニカ・オルジ/ IDFM 記者
ノーマン・キーツマン/ designjournalist.com 記者
ジャン・ブランチャー/ 画廊オーナー、タレントスカウト
リカルド・ベッロ・ディアス/ 建築家
ベッペ・フィネッシ/ デザインティーチャー&批評家
パトリツィア・マルファッティ/ ミラノサローネ 広報責任者

マーケットとデザインスター・システムへと若いデザイナーを輩出することで知られるサローネサテリテの非常に高い知名度を維持するため、**選考過程は常に高い競争率を誇っています**。2019年は特に慎重で厳格だったため、選考委員会は応募者の



Salone del Mobile.Milano

多くの落選を余儀なくされ、落選者には、将来的により正しい提案で再びチャレンジすることを奨励しました。

選考会を晴れて通過した新しいタレントたちは、過去に既に参加経験のあるデザイナー（最高3回まで参加可能）や、2018年に開催されたモスクワ・サローネサテリテと上海サローネサテリテの受賞者、そしてイタリアと諸外国のデザイン学校、芸術大学の生徒たちと共に2019年のサローネサテリテに参加します。

サローネサテリテ・アワードは今年で10回目を迎え、**需要と供給、起業家とデザイナー、創造性と生産の間**が更に密接な関係を築けるよう促進します。今年のテーマはコンペティションの参加者には既に発表されており、テーマに沿ってプロトタイプを開発するか否かは自由でした。アワードは、**デザイン界の第一線で活躍する国際的に著名な審査委員会***で構成され、初回から委員会に君臨する**パオラ・アントネッリ**（MoMAの建築とデザインのシニアキュレーター、第22回 トリエンナーレ・ディ・ミラノのキュレーター）が主宰し上位3位を選びます。

*デザイナー：ニパ・ドーシ、ダヴィデ・グロッチ、ルカ・ニケット、エウジェニ・キトレット

ジャーナリスト：シルヴィア・ナニ（コリエレ・デッラ・セラ）、エレン・フロワサル（ビーメディアス・パブリッシャーグループ）

その他：ジュリアノ・モスコニ（テクノ・ザノッタ社長&CEO）、ステファノ・セレッティ（セレッティ・クリエイティブ・ディレクター）、マーク・ツェントナー（ヴィトラ・デザイン・ミュージアム館長）

2017年より**インターザ・サンパオロ銀行**より**5,000ユーロ**相当の特別賞が与えられます。今年は審査委員によると、テーマに沿った優秀作品に授与されます。**表彰式は4月10日（水）3時からサローネサテリテ・アリーナ**で開催されます。

今年は、2つの新しい賞が加わります。2012年サローネサテリテにおいて開催された第13回**デザイン・レポート・アワード**でPINWUスタジオと受賞した**Zhang Lei**（**ジャン・レイ**）、jovana Zhang（**ジョヴァナ・ジャン**）、Christoph John（**クリストフ・ジョン**）が率いる**Rong Design Library**が杭州市（ハン ジュウ・Hangzhou）余杭区（ユーハン・Yuhang）の自治体と協力し中国伝統工芸と素材を探求することを目的とした賞、1万元に相当する1ヶ月のレジデンス・プログラムを2



Salone del Mobile.Milano

つ授与します。このプログラム期間中、受賞者は中国伝統文化と触れ合い、感性を磨く機会を得ることができます。

サローネサテリテ2019は、今年もミラノ・ドゥオモのデザイン・スーパーマーケット、**リナシェンテ**とコラボレーションし、2019年クリスマスシーズンに展示販売する作品を今年の展示作品から選びます。独創性に富むクリエイティブなプロジェクトを具体的なビジネスアイデアと実際に市場で売れる可能性のある作品が選出されます。

Salone del Mobile.Milano Japan Press PR 山本幸 yuki@milanosalone.cm

Salone del Mobile.Milano Press Office :

Marva Griffin Wilshire – Patrizia Malfatti press@salonemilano.it